理容師法に基づく主な器具・布片類の消毒法

正しい消毒の手順は、「洗浄、消毒、水洗、乾燥、保管」です

手洗い・手指消毒

- ・石けん(できれば液体石けん)を使用し、手掌、手の甲、指先、爪の間、指の間、指をねじり洗い、手首を洗う。
- ・充分な流水ですすぎ、清潔なタオル(ペーパー)で拭き取る。必要に応じて速乾性手指消毒薬を使用する。

		消毒前洗浄	消毒方法		主な器具	注意事項
器具 皮膚に接する器具は 客一人ごとに消毒	血液付着の 疑いあり	家庭用洗剤をつかい、スポンジなどで器具の表面をこすり、十分な流水(10秒以上、1リットル以上)で洗浄する。(洗剤成分が残ると消毒効果が低下する)	煮沸消毒	沸騰後2分以上煮沸	カミソリ	確実に沸騰してから2分以上 刃部全体がしっかり浸かるように
			エタノール	76.9v/v%~81.4v/v% エタノール液 10分以上浸す	カミソリ	組合事業部のエタノールは薄めない 7日以内に交換 ゴム製品、合成樹脂 は変質 芽胞には効かない
			次亜塩素酸ナトリウム	0.1%次亜塩素酸ナトリウム液 (有効塩素濃度 1000ppm) 10分以上浸す	ヒゲブラシ・クシ	保管中に塩素濃度が低下 毎日交換 20°C以上の水で希釈する。 金属製器具は錆びる
	血液付着の 疑いなし	家庭用洗剤をつかい、スポンジなどで器具の表面をこすり、十分な流水(10秒以上、1リットル以上)で洗浄する。(洗剤成分が残ると消毒効果が低下する)	紫外線照射	85μw/cm以上の紫外線を連続し 20分以上	ブラシ・クシ・ハサミ	紫外線ランプの定期交換 (2000時間、1年交換など) 影ができない庫内への入れ方
			エタノール	76.9v/v%~81.4v/v% エタノール液を含ませた綿、 ガーゼで器具表面をふく	ハサミ・クリッパー	組合事業部のエタノールは薄めない 7日以内に交換 ゴム製品、合成樹脂 は変質 芽胞には効かない
布片類 皮膚に接する布片は 客一人ごとに取り替え	血液付着の 疑いあり	汚れた部分をよくこすり洗いする (予洗い)	次亜塩素酸ナトリウム	0.1%次亜塩素酸ナトリウム液 (有効塩素濃度 1000ppm)に 10分以上浸したのち通常の洗濯	蒸しタオル・クロス (血液の付着の疑いあり)	保管中に塩素濃度が低下 毎日交換 20°C以上の水で希釈する。
			次亜塩素酸ナトリウム消毒後 蒸気消毒	次亜塩素酸ナトリウム消毒後 80℃をこえる蒸気に 10分以上触れさせる	蒸しタオル (血液の付着の疑いあり)	タオル内部の温度が80℃を超えてから10分以上 庫内への入れ方
	血液付着の疑いなし	通常の洗濯・十分に乾燥さ せたのち、適正に保管する	次亜塩素酸ナトリウム	0.01%~0.1%次亜塩素酸ナトリウム液(有効塩素濃度 100~1000ppm) 10分以上浸したのち通常の洗濯。	乾燥タオル・クロス (血液付着の疑いなし)	保管中に塩素濃度が低下 毎日交換 20°C以上の水で希釈する。

消毒後の水洗、乾燥、保管が大切

- ・消毒後は流水でよく消毒液を洗い流し、刃物は必要に応じて油を差す。使用済み、未使用を区別して保管する。
- ・洗浄に使ったスポンジなども、流水で洗浄、エタノール、次亜塩素酸ナトリウムで消毒する。
- ・布片類は消毒後、通常の洗濯をして、十分に乾燥させたのち、適正に保管する。